

## 中宮展示館周辺で確認されたチョウ類

平 松 新 一 石川県白山自然保護センター  
南 出 洋 石川県白山自然保護センター  
安 田 雅 美 石川県白山自然保護センター

### The butterfly fauna around the Chugu Museum

Shin-ichi HIRAMATSU, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*  
Hiroshi MINAMIDE, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*  
Masami ANDA, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*

#### はじめに

中宮展示館周辺における昆虫類の記録は、これまで富樫 (1975) によるハチ類を中心とした報告がある程度で、チョウ類についての記録は知られていない。

そこで、筆者らは2014年の春から秋にかけて中宮展示館周辺でチョウ類を観察したので、その結果について報告する。

本報告をまとめるにあたり、種の特徴や分布などについて貴重な助言をいただいた金沢市の松井正人氏にお礼を申し上げる。

#### 調査地と方法

中宮展示館は、白山市南東部、尾添川上流の海拔約600mの場所に位置する。展示館裏側の自然観察路には、ミズナラやオニグルミの林がある。また、展示館正面の園地は定期的に草刈りされ、開けた環境となっている。

調査は自然観察路および正面の園地で、4月26日から11月16日までの205日間、その日に観察できたチョウの種類を記録した。はっきりと同定できなかった個体については記録から除外した。スジグロシロチョウとヤマトスジグロチョウ、ルリシジミとスギタニルリシジミについては、観察では判別できなかったため、ここではそれぞれスジグロシロチョウ、ルリシジミとして記録した。種名、分類体系は白水 (2006) によった。

#### 結果と考察

##### 中宮展示館付近のチョウ相の概要

今回の調査で、5科54種類のチョウ類が確認された (表1)。これは石川県全体で見られるチョウ類の種数の43.2%にあたる。

観察したチョウはタテハチョウ科が24種と最も多く、全体の44.4%を占めていた。シジミチョウ科の13種 (24.1%)、セセリチョウ科の7種 (13.0%) がこれに続く。これらの科構成は、石川県のそれとほぼ同じだった (表2)。

本年度確認された種のうち、いしかわレッドデータブック2009ではヒメシジミが絶滅危惧Ⅱ類、オオチャバネセセリが準絶滅危惧種に指定されている (石川県, 2009)。ヒメシジミは白山周辺の尾添川流域と柳谷川流域から記録されている (松井, 1999) が、2013年には金沢市、白山市で確認された (松井, 2013a, b)。オオチャバネセセリは1970年代には目撃例が多いが、近年は減少傾向にある。この他に、エルタテハも記録が少ない種である (松井, 1999)。しかし、今回の調査では7月11日から10月24日にかけて11日観察できた。さらに、本年度は白山麓の他の場所でも多く観察されている (松井, 2014; 三上, 2014)。

絶滅危惧Ⅱ類に指定されているアサマシジミ、ゴマシジミ、準絶滅危惧種に指定されているヘリグロチャバネセセリは、過去に中宮展示館付近で記録されている (松井, 1999) が、今回の観察では確認できなかった。また、準絶滅危惧種に指定されている

表1 2014年に中宮展示館周辺で観察されたチョウ

アゲハチョウ科	Papilionidae	タテハチョウ科	Nymphalidae
ウスバシロチョウ	<i>Parnassius citrimarius</i> Motschulsky	テングチョウ	<i>Libythea leptia</i> Moore
アゲハチョウ	<i>Papilio xuthus</i> Linnaeus	サカハチチョウ	<i>Araschnia burejana</i> Bremer
キアゲハ	<i>Papirio machaon</i> Linnaeus	アカタテハ	<i>Vanessa indica</i> (Herbst)
カラスアゲハ	<i>Papirio dehaanii</i> C.&R. Felder	シートテハ	<i>Polygonia c-album</i> (Linnaeus)
ミヤマカラスアゲハ	<i>Papirio maackii</i> Ménétriès	エルタテハ	<i>Nymphalis l-album</i> (Esper)
		ヒオドシチョウ	<i>Nymphalis xanthomelas</i> (Esper)
シロチョウ科	Pieridae	ルリタテハ	<i>Kaniska canace</i> (Linnaeus)
ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus</i> Butler	オオウラギンスジヒョウモン	<i>Argyronome ruslana</i> (Motschulsky)
モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i> (Linnaeus)	ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia</i> (Linnaeus)
スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete</i> (Ménétriès)	ウラギンヒョウモン	<i>Fabriciana adippe</i> (Denis & Schiffermüller)
キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i> (de l'Orza)	スミナガシ	<i>Dichorragia nesimachus</i> (Doyère)
モンキチョウ	<i>Colias erate</i> (Esper)	ホシミスジ	<i>Neptis pryveri</i> Butler
		コムスジ	<i>Neptis sappho</i> (Pallas)
シジミチョウ科	Lycaenidae	イチモンジチョウ	<i>Ladoga camilla</i> (Linnaeus)
ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta</i> Moore	アサマイチモンジ	<i>Ladoga glorifica</i> (Fruhstorfer)
アカシジミ	<i>Japonica luter</i> (Hewitson)	コムラサキ	<i>Apatura metis</i> Freyer
ウラナミアカシジミ	<i>Japonica saepestriata</i> (Hewitson)	ヒメウラナミジャノメ	<i>Ypthima argus</i> Butler
ミズイロオナガシジミ	<i>Antigius attilia</i> (Bremer)	コジャノメ	<i>Mycalesis francisca</i> (Stoll)
オナガシジミ	<i>Araragi enthea</i> (Janson)	ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama</i> Moore
ウラミスジシジミ	<i>Wagimo signatus</i> (Butler)	ツマジロウラジャノメ	<i>Lasiommata deidamia</i> (Eversmann)
ジョウザンミドリシジミ	<i>Favonius taxila</i> (Bremer)	クロヒカゲ	<i>Lethe diana</i> (Butler)
ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas</i> (Linnaeus)	ヒメキマダラヒカゲ	<i>Zophoessa callipteris</i> (Butler)
ヤマトシジミ	<i>Zizeeria maha</i> (Kollar)	ヤマキマダラヒカゲ	<i>Neope niponica</i> Butler
ツバメシジミ	<i>Everes argiades</i> (Pallas)	アサギマダラ	<i>Parantica sita</i> (Kollar)
ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus</i> (Linnaeus)		
ウラナミシジミ	<i>Lampides boeticus</i> (Fabricius)	セセリチョウ科	Hesperiidae
ヒメシジミ	<i>Plebejus argus</i> (Linnaeus)	キバネセセリ	<i>Burara aquilina</i> (Speyer)
		ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys</i> (Ménétriès)
		コチャバネセセリ	<i>Thoressa varia</i> (Murray)
		コキマダラセセリ	<i>Ochlodes venatus</i> (Bremer & Grey)
		キマダラセセリ	<i>Potanthus flavus</i> (Murray)
		オオチャバネセセリ	<i>Polytremis pellucida</i> (Murray)
		イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata</i> (Bremer & Grey)



写真1 ヒメシジミ

ギフチョウも2012年に観察路で展示館職員が目撃している。これらの種についても中宮展示館での観察を継続することで、近年の動向を明らかにできるだろう。

#### 観察日数

今回観察できた種のうち、目撃日数が最多だったのは、モンシロチョウの92日だった(図1)。中宮展示館の2014年の開館日数は205日だったので、そのうちの44.9%の日でモンシロチョウが観察されたことになる。次に多かったのはミドリヒョウモンの64日で、これにスジグロシロチョウ(61日)、キタ

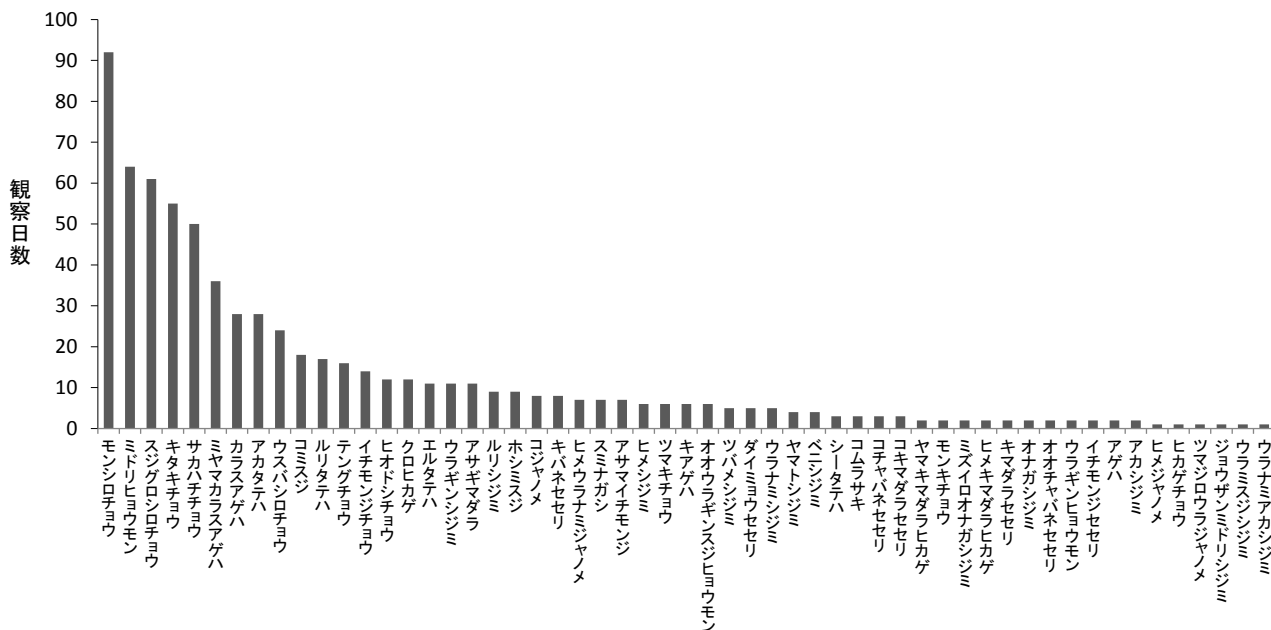


図1 種ごとの観察日数

キチョウ (55日), サカハチチョウ (50日) を加えた5種が観察日数上位種である。これら上位5種のうち3種はシロチョウ科だった。

一方, 1日だけ観察されたチョウは6種類で, このうち3種類はタテハチョウ科のジャノメチョウ亜科, 残りの3種類はシジミチョウ科だった。

季節変化

各種のチョウがどの時期に多くみられるかを知るために, 各月を1日から10日, 11日から20日, 21日から30日 (5, 7, 8, 10月は31日) の3期間に分け, 種ごとにそれぞれの期間で観察できた日数を算出し, 図2に示した。

アゲハチョウ科では, ウスバシロチョウが5月上旬から6月下旬に, ミヤマカラスアゲハが7月上旬から9月下旬にかけてみられた一方で, カラスアゲハは5月上旬から9月下旬まで長期間にわたって

見られた。

シロチョウ科では, ツマキチョウが5月上旬から6月下旬に見られたが, キタキチョウ, スジグロシロチョウ, モンシロチョウは5月上旬から10月下旬まで見られた。特にモンシロチョウは6月から7月にかけてはほぼ毎日確認できた。

シジミチョウ科では, ウラギンシジミが8月上旬から10月下旬まで記録されている。ヒメシジミおよびツバメシジミは7月だけに記録されたのに対して, ルリシジミは5月上旬から9月下旬にかけて断続的に観察された。

タテハチョウ科のうち, テングチョウ亜科ではテングチョウが6月上旬から7月上旬にだけみられ, 他の時期には観察されなかった。タテハチョウ亜科ではサカハチチョウが5月上旬から9月中旬, アカタテハは5月中旬から9月中旬, ヒオドシチョウは6月上旬から7月下旬, ルリタテハが6月中旬から8月下旬にかけて, 比較的長期間観察されている。ドクチョウ亜科では, ミドリヒョウモンが6月中旬から10月中旬にかけて観察され, 特に9月中はほぼ毎日記録されている。イチモンジチョウ亜科では, どの種も出現日数は少なかったが, イチモンジチョウ, コミスジおよびスミナガシは5月下旬から6月下旬にかけてと, 7月中旬から9月下旬にかけて出現している。ジャノメチョウ亜科では, クロヒカゲは5月下旬から6月上旬に確認された後, 8月下旬から9月下旬に観察されている。マダラチョウ亜科

表2 中宮展示館と石川県のチョウ種類数

科	中宮	石川県
アゲハチョウ	5 ( 9.3)	12 ( 9.6)
シロチョウ	5 ( 9.3)	8 ( 6.4)
シジミチョウ	13 ( 24.1)	37 ( 29.6)
タテハチョウ	24 ( 44.4)	52 ( 41.6)
セセリチョウ	7 ( 13.0)	16 ( 12.8)
合計	54 (100.0)	125 (100.0)

( ) は各科の種数が全種数に占める百分率を示す。

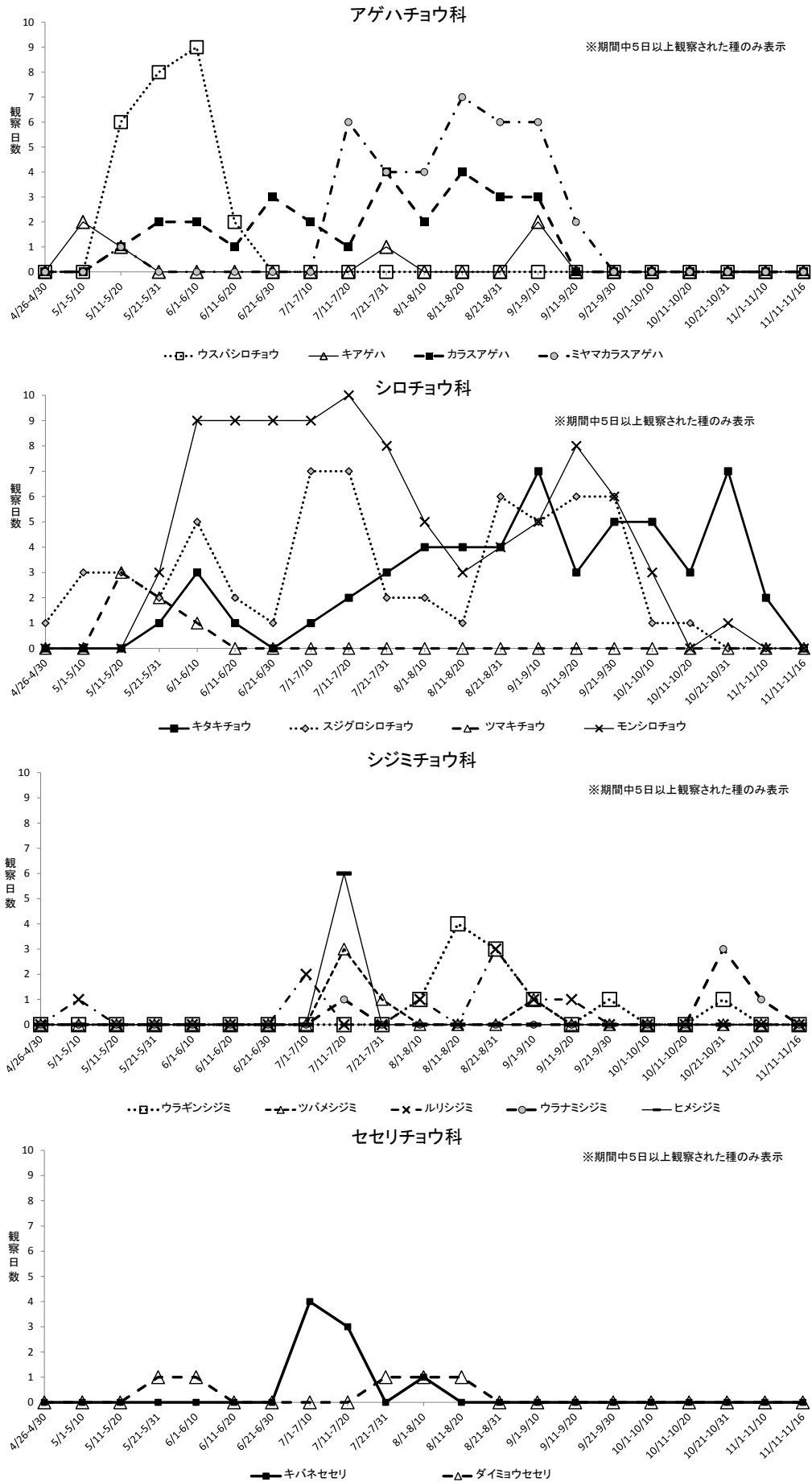


図2 観察時期

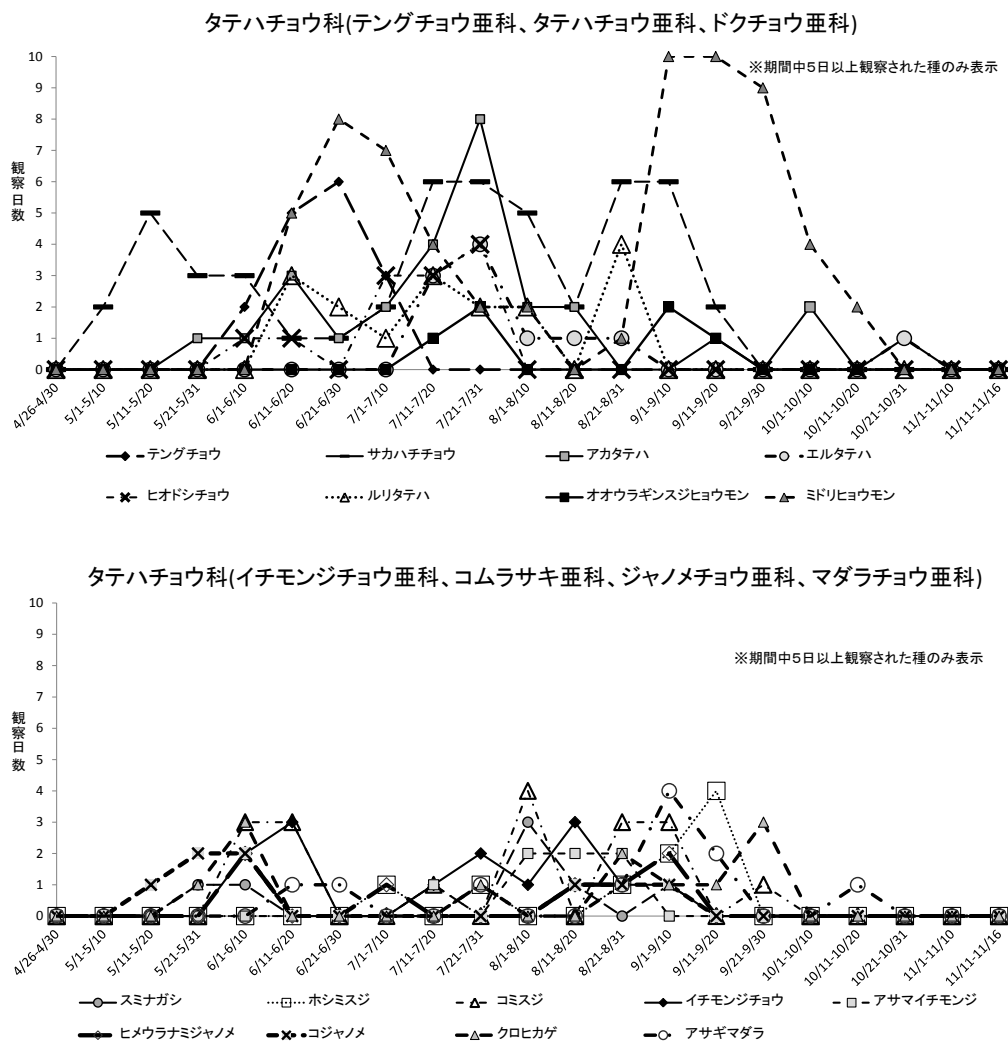


図2 観察時期 (続き)

では、アサギマダラが9月中旬から下旬にかけて観察日数が多くなっていた。

以上のように、中宮展示館周辺には時期ごとに多様な種類のチョウ類が観察できた。今後もこれらの動向を観察するとともに、チョウ類以外の昆虫についても観察し、この地域の昆虫相を明らかにしていくことが、白山の生物相の解明につながると考える。

引用文献

石川県 (2009) 改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物<動物編>2009. 石川県.  
 松井正人 (1999) 蝶類. 石川むしの会・百万石蝶談会編, 石川県の昆虫, pp. 342-365. 石川県環境安全部自然保護課, 石川.  
 松井正人 (2013a) 石川県白山市でヒメシジミを多数観察.

翔 223 : 1.  
 松井正人 (2013b) 石川県金沢市でヒメシジミを観察. 翔 223 : 2.  
 松井正人 (2014) 白山市一里野スキー場上部でエルタテハが樹液に飛来. 翔 231 : 3-4.  
 三上秀彦 (2014) 白山市山間部の2ヶ所でエルタテハを確認. 翔 231 : 5-6.  
 白水隆 (2006) 日本産蝶類標準図鑑. 学研, 東京, 336pp.  
 富樫一次 (1975) 中宮温泉付近の昆虫類. 石川県白山自然保護センター研究報告 2 : 61-64.

付表 中宮展示館 蝶観祭記録 -平成26年度-

Table with columns: アダバ, 種類, 確認日, 場所, 確認者, 天気. Contains observation data from 8/12 to 8/24.

Table with columns: ヤマカラスアゲハ, 種類, 確認日, 場所, 確認者, 天気. Contains observation data from 8/15 to 7/23.

Table with columns: キタキチョウ, 種類, 確認日, 場所, 確認者, 天気. Contains observation data from 7/24 to 7/29.



